

教育
支援就労
支援住宅
支援

埼玉県から事業の委託を受けた民間団体が、
「教育・就労・住宅」の三つの分野から、
生活保護を利用している皆さんへの支援を行います。



高校進学に向けた支援や、
地域の学習教室で個別に勉強を教えます。

適性に応じた職業訓練の受講から、
再就職まで一貫した支援を行います。



無料低額宿泊所から、民間アパートや
社会福祉施設などへの入居を支援します。



《生活保護受給者チャレンジ支援事業》

彩の国
埼玉県

《埼玉県・アスポート》

生活保護受給者に対する

総合的な自立支援の取り組み



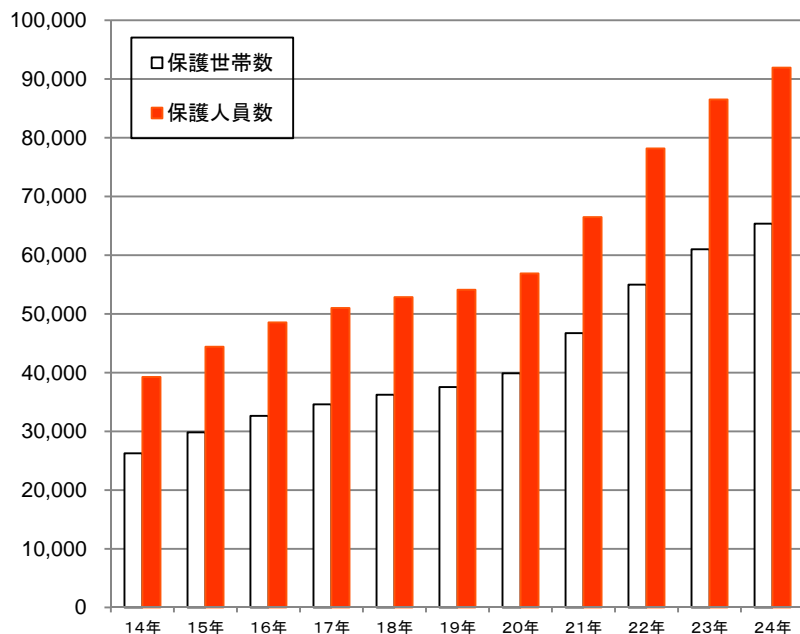
本県における生活保護の動向



□ 生活保護世帯、人員等の動向

- ・ 長引く経済不況や高齢化の進展を反映し受給者は増加

	H20	H21	H22	H23	H24
世帯数	39,885	46,715	54,992	61,010	65,362
人員数	56,882	66,491	78,179	86,525	91,954
保護率	0.80%	0.93%	1.09%	1.20%	1.28%



□ 就労可能な受給者の急増

- ・ リーマンショック以降、就労可能な「その他世帯」が急増
(停止中世帯を除く)

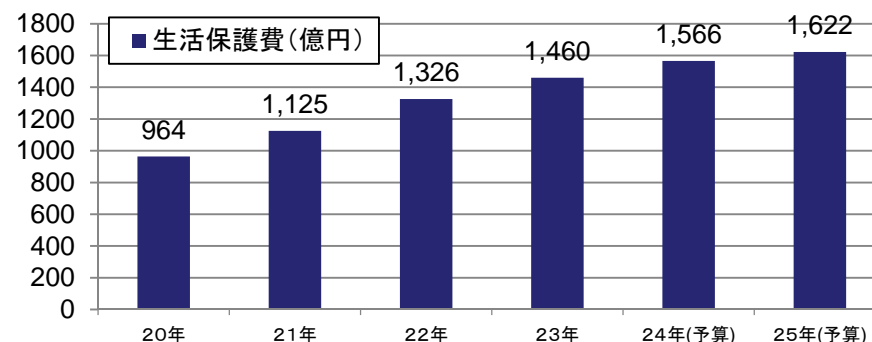
	高齢者世帯	母子世帯	傷病障害者世帯	その他世帯
H20.9	16,381	3,627	14,718	4,718
(構成比)	(41.5%)	(9.2%)	(37.3%)	(12.0%)

3倍に増加

	高齢者世帯	母子世帯	傷病障害者世帯	その他世帯
H24.9	25,972	4,940	19,903	14,252
(構成比)	(39.9%)	(7.6%)	(30.6%)	(21.9%)

□ 生活保護費の推移

- ・ 受給者の増加に伴い、生活保護費も急増



➡ 「生活保護受給者チャレンジ支援事業」で自立を支援

※ 数値はすべてさいたま市を含む

アサポート/ASUPPORT 5つの特徴



「明日に向かって船出をする港」と「明日へのサポート」を意味する言葉。

1 県が事業の実施主体となる

→ 常識の打破① 県と福祉事務所の壁を超える

2 全県の福祉事務所が対象

→ 常識の打破② 福祉事務所の壁を超える

3 就労・住宅・教育をトータルで支援

→ 常識の打破③ 担当課の壁を超える

4 民間団体との積極的な連携

→ 常識の打破④ 行政と民間の壁を超える

5 待つのではなく、手を伸ばす支援

→ 常識の打破⑤ 相談機関と家庭との壁を超える

生活保護世帯の子どもへの教育支援(実績とH25の展開)



「貧困の連鎖」発生率 25.1%

保護世帯で育った子どもが、
大人になって再び保護を受ける

教員OBなどの支援員と大学生ボランティアが、
特別養護老人ホームで学習指導



大学生ボランティアの参画



会場は特別養護老人ホーム

H24の実績

- 中学3年生の参加者数 **782**人の対象者中**331**人
- 高校進学率 **97%** (331人中**321**人が進学)

H21 県の保護世帯の進学率 86.9%から10ポイント増

H25の展開

訪問面接・学習指導を行う教育支援員を**45**人から**58**人に増員

高校生教室を受け持つ学習専門員を新たに**40**人配置

学習教室を**17**か所から**24**か所に増設

